

令和5年度

病院事業局運営プログラム

評価票

令和6年8月

病院事業局

令和5年度 病院事業局施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】…第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】
 - ① 県民を守る災害対応力の充実
- (2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】
 - ② 質の高い医療の提供
- (3) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】
 - ③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

II 政策の効率的・効果的な展開の促進

- ④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

令和5年度 病院事業局 主要事業実施状況

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(1) 大規模災害への対応など危機管理機能の充実強化【4-1】



取組みの成果

① 県民を守る災害対応力の充実

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<行政における計画的な備蓄や災害時医療救護体制等の充実強化>

(評価)

- ・新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染症法上の位置づけ変更後の移行計画期間における専用病床の確保、ドクターヘリの運航及び搭載医療機器の整備、病院における災害対応マニュアル等に基づく訓練の実施、災害派遣医療チーム（DMAT）の編成等を実施した。なお、令和6年能登半島地震においては、DMATや災害派遣精神医療チーム（DPAT）等を派遣した。

(見直しの方向性)

- ・コロナ禍や令和6年能登半島地震の対応等を踏まえ、平時からの備蓄や訓練の実施等により災害時の医療提供体制について充実強化を図る。

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
安全、安心、信頼 の医療の提供	1,075,675 (1,111,580)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリの運航及び搭載医療機器の整備 ・各種災害訓練を実施、DMATを編成 ・中央病院リモートステーション盤更新工事を実施 ・中央病院照明制御装置更新工事を実施 ・医療機器等を整備 ・総合周産期母子医療センターを運営 ・県立病院医療安全研修を実施 ・がん相談支援センターを運営 	11
県民に対する適切 な医療の提供	94,463 の一部 (194,840)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防護資材等の確保 ・病院入口での受付の実施 ・山形県PCR自主検査センターの運営 (検査件数 27件) 	11
計	1,170,138 の一部 (1,306,420)		

(2) 保健・医療・福祉の連携による「健康長寿日本一」の実現【4-3】



取り組みの成果

② 質の高い医療の提供

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<医療従事者の安定的な確保>

(評価)

- ・民間主催の臨床研修医ガイダンスへの参加や民間の求人サイト等を活用した情報発信などの取り組みにより、臨床研修医マッチングにおいて、中央病院でフルマッチ（募集定員を満員（16名）で充足）を達成した。
- ・また、大学からの臨床実習の積極的な受入れ等により、医療従事者の確保を図った。
- ・各職種の仕事紹介や募集情報等を一元化した本局独自のリクルート総合サイトを活用し、看護師志望者向けのPR動画を公開するなど情報発信を強化した。
- ・新たに開院した新庄病院において、院内保育所を開設した。

(見直しの方向性)

- ・学生等に対するオンラインに対応した採用活動の取り組みを推進するとともに、対面でのガイダンス等への参加も促進する。
- ・リクルート総合サイトを更に活用し、積極的かつ効果的な情報発信を強化する。

<適時適切な医療を提供できる体制づくり>

(評価)

- ・新型コロナの感染症法上の位置づけ変更後の移行計画期間における専用病床の確保、河北病院における山形県PCR自主検査センターの運営、感染防護資材等の確保、病院入口での受付の実施等により、新型コロナに適切に対応した。
- ・救急医療提供体制の確保を図るため、中央病院において、救命救急センターの運営やドクターヘリの運航等を継続した。
- ・令和5年10月1日、新たな新庄病院を開院し、地域救命救急センターの新設など医療機能の強化を図った。
- ・精神科医療提供体制の確保を図るため、こころの医療センターにおいて、精神救急患者の24時間365日受入れ体制を継続した。
- ・業務効率化を図る県立病院統合データベースの構築に着手、ネットワークセキュリティの向上を図るランサムウェア対策の実施等により、デジタル化を推進した。

(見直しの方向性)

- ・コロナ禍を踏まえ、新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組みを推進する。
- ・各県立病院が地域の医療ニーズに応え、役割を果たすための機能強化を図る。
- ・引き続き、診療及び業務のデジタル化を推進するとともに、デジタル化推進のための環境整備を図る。

<総合的ながん対策の推進>

(評価)

- ・中央病院において、がん・生活習慣病センター及びがん相談支援センターを、新庄病院において、がん相談支援センターを運営し、がん患者及びその家族に対する支援を実施した。

(見直しの方向性)

- ・がん・生活習慣病センター及びがん相談支援センターを運営するとともに、がん化学療法看護認定看護師等によるがん患者及びその家族に対する支援を実施する。

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
医療を支える人材の確保	1,128,911 の一部 (1,154,974)	・民間主催の臨床研修医ガイダンスへの参加や民間の求人サイト等を活用した情報発信を実施 ・リクルート総合サイトを運営 ・看護師志望者向けPR動画を作成及び公開 ・中央病院院内保育所を運営 ・新庄病院院内保育所を開設	3
安全、安心、信頼の医療の提供 (再掲)	1,075,675 (1,111,580)	・ドクターヘリの運航及び搭載医療機器の整備 ・各種災害訓練を実施、DMATを編成 ・中央病院リモートステーション盤更新工事を実施 ・中央病院照明制御装置更新工事を実施 ・医療機器等を整備 ・総合周産期母子医療センターを運営 ・県立病院医療安全研修を実施 ・がん相談支援センターを運営	3
大学、地域の医療機関等との連携の推進	519,879 の一部 (521,606)	・新庄病院総合患者サポートセンターを新設し、入退院支援機能を強化 ・中央病院患者サポートセンターにおいて社会福祉士等による入退院支援を実施	3
新庄病院改築整備の推進	3,447,248 (3,706,855)	・外構工事、医療機器や備品等の整備等を実施 ・令和5年10月1日、新病院を開院	3
働き方改革への対応	886,190 の一部 (891,001)	・県立病院統合データベース利活用環境の構築に着手 ・医師事務作業補助者や看護補助者を配置し、医療従事者の勤務環境を改善 ・勤務管理システムの運用を開始	3
県民に対する適切な医療の提供 (再掲)	94,463 の一部 (194,840)	・感染防護資材等の確保 ・病院入口での受付の実施 ・山形県PCR自主検査センターの運営 (検査件数 27件)	3
高度医療及び専門医療を担う人材の育成	328,966 の一部 (374,602)	・医師の学会参加、研究調査等を支援 ・認定看護師、専門看護師等を育成 ・医療技術員の専門資格の取得を促進	3
デジタル化の推進	96,136 (96,154)	・県立病院統合データベース利活用環境の構築に着手(再掲) ・ネットワークセキュリティの向上を図るランサムウェア対策を実施	3
計	7,577,468 の一部 (8,051,612)		

(3) 総合的な少子化対策の新展開【4-5】



取組みの成果

③ 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくり

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<p><妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実> (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不妊に悩む方を対象とし、新庄病院で外来診療及び不妊治療を実施した。 ・中央病院において、総合周産期母子医療センターを運営し、妊娠、出産から新生児に至るまでの高度・専門的かつ総合的な医療を推進し、周産期・救急医療提供体制の充実を図った。 <p>(見直しの方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き不妊に悩む方の支援を行うため、新庄病院で不妊に関する診療を実施する。 ・周産期・救急医療提供体制の充実を図るため、引き続き中央病院における総合周産期母子医療センターを運営する。
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
安全、安心、信頼 の医療の提供 (再掲)	1,075,675 (1,111,580)	<ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリの運航及び搭載医療機器の整備 ・各種災害訓練を実施、DMATを編成 ・中央病院リモートステーション盤更新工事を実施 ・中央病院照明制御装置更新工事を実施 ・医療機器等を整備 ・総合周産期母子医療センターを運営 ・県立病院医療安全研修を実施 ・がん相談支援センターを運営 	16
計	1,075,675 (1,111,580)		

Ⅱ 政策の効率的・効果的な展開の促進



取組みの成果

④ 県立病院の安定的な運営基盤を実現する経営の改善

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<高度医療及び専門医療を担う人材の育成>

(評価)

- ・ 認定看護師等の医療従事者の専門資格の取得促進、学会への参加、研究調査等の医師研修の実施により人材の育成を図った。

(見直しの方向性)

- ・ 高度医療及び専門医療を担う人材育成を図るため、院内外での能力向上研修への参加促進、先進的な病院への派遣研修の実施等を推進する。

<安定した収益の確保>

(評価)

- ・ D P C 分析ソフトの活用による適正な D P C コーディングの実施等により、診療報酬請求の精度向上を図った。
- ・ 中央病院における患者サポートセンターの運営、新庄病院における総合患者サポートセンターの新設等により、入退院支援を強化し、県立病院での医療を必要とする紹介患者の受入れを推進した。

(見直しの方向性)

- ・ 引き続き適正なコーディングの実施や請求漏れの縮減を図るため、診療情報管理士を中心とした D P C 分析を行う。
- ・ 県立病院での医療を必要とする紹介患者の受入れを推進するため、引き続き、入退院支援の強化等を実施し、地域の医療機関等との連携強化を図る。

<医業費用の効率化>

(評価)

- ・ 経営コンサルタントを活用し、診療資材の価格交渉やコスト削減に関する提案を踏まえた調達を実施した。

(見直しの方向性)

- ・ 施設の計画的な維持管理、医療機器の調達方法の検討等により医業費用の効率化の取組みを進める。

<個人医業未収金対策の強化>

(評価)

- ・ 個人未収金対策を推進するために、弁護士事務所へ個人未収金回収業を委託した。

(見直しの方向性)

- ・ 速やかな支払督促を徹底するとともに、引き続き弁護士事務所への業務委託を実施し、個人未収金対策を強化する。

<事務部門の強化>

(評価)

- ・ 事務部門の専門性を確保するため、新たに病院経営職3名を採用した。

- ・新たに2名が病院経営管理士の資格を取得した。
(見直しの方向性)
- ・引き続き、病院経営職等を計画的に採用するとともに、これまで採用した職員のスキルアップやリスキリングを推進し、資質向上を図る。
- ・引き続き、病院経営管理士の資格取得を推進する。

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
医療を支える人材の確保(再掲)	1,128,911 の一部 (1,154,974)	・民間主催の臨床研修医ガイダンスへの参加や民間の求人サイト等を活用した情報発信を実施 ・リクルート総合サイトを運営 ・看護師志望者向けPR動画を作成及び公開 ・中央病院院内保育所を運営 ・新庄病院院内保育所を開設	3
高度医療及び専門医療を担う人材の育成(再掲)	328,966 の一部 (374,602)	・医師の学会参加、研究調査等を支援 ・認定看護師、専門看護師等を育成 ・医療技術員の専門資格の取得を促進	3
安定した収益の確保	283,577 の一部 (285,466)	・精度の高い診療報酬請求を実施するため、DPC分析ソフトを活用 ・中央病院患者サポートセンターの運営、新庄病院総合患者サポートセンターの新設等により、入退院支援を強化	3
医業費用の効率化	298,626 (298,698)	・医業費用を効率化するため、経営コンサルタントを活用 ・旧鶴岡病院の土地建物を鶴岡市に譲渡	3
個人医業未収金対策の強化	2,764 (5,547)	・弁護士事務所へ未収金回収業務を委託	3
事務部門の強化	315,791 の一部 (317,204)	・病院経営職3名を新たに採用 ・各種研修への参加等によりスキルアップを推進 ・新たに2名が病院経営管理士の資格を取得	3
計	2,358,635 の一部 (2,436,491)		